

きっかわ ご めいこうほんらいなら かんけい しりょう あきた けんしよぞう
吉川五明稿本類並びに關係資料 (秋田県所蔵)

- 1 種 別 有形文化財 (書跡・典籍)
- 2 名称及び員数 吉川五明稿本類並びに關係資料 (秋田県所蔵) 22点附3点
- 3 所在地 秋田市山王新町14番31号 秋田県立図書館 (21点附3点)
秋田市山王新町14番31号 秋田県公文書館 (1点)
- 4 所有者 秋田県
- 5 時代 江戸時代中期～後期
- 6 材質・寸法等 別紙のとおり
- 7 説明

吉川五明稿本類並びに關係資料は、江戸時代中期から後期の秋田の俳人吉川五明の自筆俳書等のうち、秋田県立図書館及び秋田県公文書館が所蔵する資料群である。

享保16年(1731)に那波三郎右衛門祐祥の五男として久保田城下茶町菊之丁に生まれた五明(幼名伊五郎、のち正九郎、宗七郎兄之、祐之、隠居後に了阿)は、茶町菊之丁の吉川惣右衛門吉品の養子となり、のちに吉品の長女律と結婚して分家した。養父死後、義弟を後見して家業の隆盛を支え、享和3年(1803)73歳で没した。

少年期より滑稽味や言葉遊びをもっぱらにする談林風の句作をしたが、やがてそのような句作に疑問を抱き独学で芭蕉の俳諧を研究した。宝暦12年(1762)俳号を五明と改めたころを境に、自然観照を基本とし叙情や感傷をたたえた句風に転換し、芭蕉回帰を目指した。明和5年(1768)『四季の友』で全国に先駆けて蕉風復古の宣言を行い、与謝蕪村、加藤暁台ら諸国俳人と幅広く交流しながら中興俳諧運動の一翼を担って、句作を深めた。

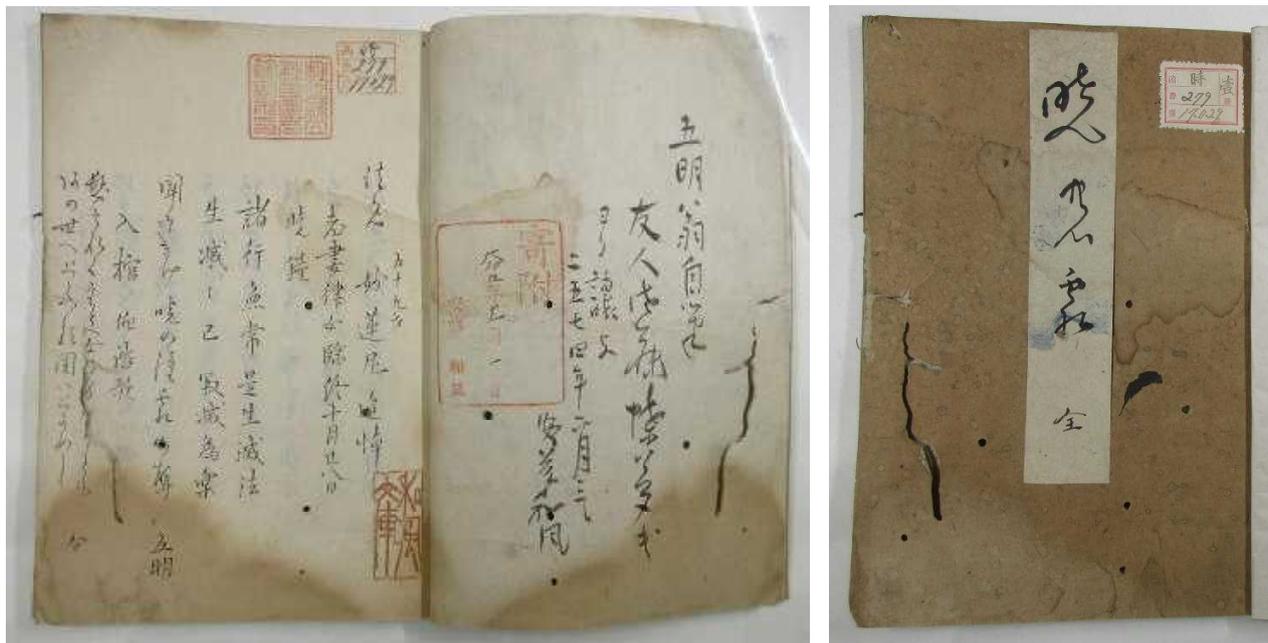
五明の自筆俳書等の多くはまとまって吉川家に伝わり、昭和54年10月と昭和60年3月に「五明文庫」として秋田市指定有形文化財となった後、平成3年に秋田市立中央図書館明德館に寄託され、令和3年3月には秋田県指定有形文化財に指定されている。しかし、行方のわからない著作があることも知られており、近代になって、石井露月とともに秋田俳壇の中心的存在であった安藤和風や、五明の俳統を継ぐ升屋柳雨などが散逸した資料の搜索に努め、収集、復元された資料の多くが秋田県立秋田図書館(現秋田県立図書館)に寄贈された。このほか、郷土史家東山太三郎などが収集した資料が、同図書館に寄贈されている。

現在、秋田県立図書館と秋田県公文書館に所蔵されているこれらの資料のうち、五明とその弟子の時代に成立したと考えられる五明編著または門人編著の典籍、自筆掛軸及び五明遺品は、「五明文庫」を補って五明研究の資料として価値が高い。亡妻の追悼句集『暁の霜』、芭蕉と蕉門の句を五明自ら抜粋した『こほれ穂』、芭蕉とその高弟の句を評した俳論『蓼に螢』、『螢光小夜話』などの稿本や写本、『絵扇』など生前の板本、自筆掛軸、工藤野松による五明秀句集『小夜庵五明発句集』等からなる本資料群は、蕉風復古とその深化を図った五明の後半生の俳諧の軌跡をたどることのできる貴重なものである。

参考文献

藤原弘 編 『秋田俳書体系 吉川五明集上』 秋田俳文学の会 昭和49年(1974)11月30日

藤原弘 編 『秋田俳書体系 吉川五明集下』 秋田俳文学の会 昭和51年(1976)11月30日
 足達矩水・井上隆明・今井凄雨・高橋友鳳子・藤原弘・丸山一彦 『秋田俳諧史』 秋田俳文学の会
 昭和44年(1969)3月1日



『曉の霜』(秋田県立図書館蔵)



『発句画賛「夕小雨」』(秋田県立図書館蔵)

【典籍（五明編著）等】10点（稿本6、写本2、板本2）

① ^{あかつき} ^{しも} 暁の霜（紙本墨書、半紙本・四ツ目綴、15丁、縦21.8cm×横15.5cm、1冊）稿本。五明編・筆。寛政8年（1796）成立。妻律を失った悲しみを詠んだ五明と一門による追悼句集。本文は『秋田俳書体系 吉川五明集下』214頁以下に翻刻されている。「五明翁自筆／友人佐藤蝶夢氏／ヨリ譲与／二五七四年六月三日／安藤和風」と来歴の書付がある。大正15年11月1日、安藤和風寄贈。＜秋田県立図書館蔵（91-トキ/279/）、時雨庵文庫＞

② ^{たて} ^{ほたる} 蓼に螢（紙本墨書、卷子本、布装、縦27.5cm×横586.1cm、1軸）稿本。五明著・筆。寛政7年（1795）成立。寛政2年（1890）五月雨の夜に其角の句「草の戸に我は蓼喰ふ螢哉」について友人に語った解釈を、五十嵐嵐児の需めに応じて書き与えた俳論書。題簽欠落。本文は『秋田俳書体系 吉川五明集下』310頁以下に翻刻されている。県立図書館蔵の③『螢光小夜話』（写本、内題「蓼之螢」）はこの別本。＜秋田県立図書館蔵（28-シヨカ^レ / アメキ2）/1）、時雨庵文庫＞

③ ^{けいこう} ^さ ^よ ^{ぼなし} 螢光小夜話（紙本墨書、半紙本・四ツ目綴、6丁、縦24.5cm×横17.0cm、1冊）写本。五明著。寛政2年（1890）以降成立。内題「蓼之螢」。外題の『螢光小夜話』は、『小夜話』（五明の俳論書。五明文庫（秋田市立中央図書館明德館）に写本がある）の続編の意味か。奥書に「寛政庚戌／さみたれのひ／榎岡窓下に書 鶴頭人／他門に披へからず、穴賢／＼（踊り字）」とある。五明は隠居後に久保田郊外の榎岡（現秋田市川尻）の小夜庵に入庵している。②『蓼に螢』（五明自筆卷子本）の別本。②に比して、表現の簡潔な箇所が散見される。「村木」の墨印あり。＜秋田県立図書館蔵（A911.3/3/）＞

④ ^ほ ^{じょう} こほれ穂 上（紙本墨書、小本・五ツ目綴、23丁、縦15.6cm×横11.6cm、1冊）稿本。五明編・筆。安永7年（1778）成立。『虚栗』、『一橋集』、『春の日』、『続虚栗』、『曠野』、『其俗』などの蕉門俳書の抜き書き。序は『秋田俳書体系 吉川五明集上』77頁以下に翻刻されている。県立図書館外装表紙に「伝、五明筆」とある。表紙見返しに「五明翁自筆／なる如し／しくれ庵」の書付あり。五明文庫（秋田市立中央図書館明德館）の稿本『こほれ穂 上』に比して、『冬の日』、『熱田三歌仙』の抜き書きを欠いている。＜秋田県立図書館蔵（91-トキ/35/）、時雨庵文庫＞

⑤ ^ほ ^{ちゆう} こほれ穂 中（紙本墨書、小本・五ツ目綴、43丁、縦15.5cm×横11.5cm、1冊）稿本。五明編・筆。安永7年（1778）成立。『初懐紙』、『三日月日記』、『陸奥千鳥集』、『温海山集』、『瓠集』、『猿蓑集』などの蕉門俳書や奥羽記行の時の発句の抜き書き。県立図書館外装表紙に「伝、五明筆」とある。五明文庫（秋田市立中央図書館明德館）の稿本『こほれ穂 中』は『初懐紙』の抜き書きのみを収載している。同文庫の稿本『こほれ穂 下』の前半に比して、概ね共通するが「元禄二己巳年奥羽記行之時等窮亭ニテ」の章と『梅の草紙』の抜き書きを欠いている。＜秋田県立図書館蔵（91-トキ/35/）、時雨庵文庫＞

⑥ ^ほ ^げ こほれ穂 下（紙本墨書、小本・五ツ目綴、32丁、縦15.6cm×横11.5cm、1冊）稿本。五明編・筆。安永7年（1778）成立。『五老井許六家集』、『深川集』、『句兄弟』、『炭俵集』、『続猿蓑集』、『砺波山集』、『別座鋪』、『小文庫集』などの蕉門俳書の抜き書き。県立

図書館外装表紙に「伝、五明筆」とある。五明文庫（秋田市立中央図書館明德館）稿本では『こほれ穂 上』に収載されている『熱田三歌仙』抜き書きが、この冊子の終わりから2章目に収載されている。また、五明文庫稿本『こほれ穂 下』では5章目に収載されている「元禄二己巳年奥羽記行之時等窮亭ニテ」の章は、この冊子では末尾に収載されている。＜秋田県立図書館蔵（91-トキ/35/）、時雨庵文庫＞

⑦こほれ穂^ほ（紙本墨書、半紙本・四ツ目綴、88丁、縦23.2cm×横16.3cm、1冊）写本。五明編・写。天明8年（1788）成立。題簽なし。蕉門俳書の抜き書き。序に落丁あり。五明文庫（秋田市立中央図書館明德館）の稿本『こほれ穂 上・中・下』に比して、『初懐紙』の抜き書きを省略し、『韻塞集』の抜き書きを増補している。井上隆明氏寄贈。＜秋田県立図書館蔵（91-へいイ/1/576）＞

⑧俳人書簡貼交ぜ帖^{はいじんしょかんはりま ちょう}（紙本墨書、折帖、33折、縦21.0×横20.0、1冊）稿本。五明ほか著・筆。編者・成立年未詳。五明ほか20余名の俳人による33通の書簡が、折帖の両面に貼り付けられている。秋山御風とその門下の会田素山に宛てられた書簡が多い（それぞれ19通、8通）。五明自筆書簡（時半宛）一通からは、美濃派への評価が窺える。五明宛書簡一通（益戸巴釣発）も含まれる。平成14年10月1日、山口醇氏寄贈。＜秋田県立図書館蔵（91-ゴウト/2228/）＞

⑨絵扇^{え おうぎ}（紙本摺写、中本・四ツ目綴、24丁、縦20.6cm×横14.7cm、1冊）板本。五明編。版下は五明書・嵐児画。寛政年間（1789-1800）頃成立。大正15年11月1日、安藤和風寄贈。＜秋田県立図書館蔵（91-アン/27/）、時雨庵文庫＞

⑩安永六丁酉載旦^{あんえいろくひのととりさいたん}（紙本摺写、半紙本・四ツ目綴、5丁、縦22.3cm×横16.0cm、1冊）板本。五明編。版下の筆写者未詳。安永6年（1777）成立。本文は『秋田俳書体系 吉川五明集上』327頁以下に翻刻されている。大正15年11月1日、安藤和風寄贈。＜秋田県立図書館蔵（91-トキ/261/）、時雨庵文庫＞

【掛軸（自筆）】11点

⑪発句画賛「田に山に」^{ほっく がさん た やま}（紙本墨書、布装、縦89.1cm×横64.5cm、1軸）掛軸。五明ほか書。成立年未詳。「田に山に日はしりそきて秋静 鶴頭五明」他寄せ書。鶴頭は五明の別号。表具裏貼紙に「鶴頭五明翁外十二俳人書」、「酔経庵主人東水蔵」とある。＜秋田県立図書館蔵（28-シヨカ/アメ(キ4)/33）、時雨庵文庫＞

⑫発句画賛「生海鼠哉」^{な ま こかな}（紙本墨書、紙装、縦66.3cm×横24.4cm、1軸）掛軸。五明書、蒼雪庵求信（狩野秀水）画。成立年未詳。本文「□（「友」か）おしに押さふ／躰の生海鼠哉／鶴頭叟（印）／（蘇鉄図）／蒼雪庵／求信筆（印）（印）」。鶴頭叟は五明の別号。表具裏墨書「狩野秀水蘇鉄／吉川五明海鼠句／和風」。＜秋田県立図書館蔵（28-シヨカ/アメ/89）、時雨庵文庫＞

⑬発句画賛「日は華の」(紙本墨書、布装、縦81.2cm×横25.7cm、1軸)掛軸。五明書。成立年未詳。本文「日は華の／中より暮るる木槿哉／鶴頭五明(印)(印)」。表具裏墨書「五明木槿自画賛 和風蔵」。<秋田県立図書館蔵(28-シヨカ^ゝ/アメ/93)、時雨庵文庫>

⑭発句画賛「夕小雨」(絹本墨書、紙装、縦32.4cm×横43.0cm、1軸)掛軸。五明書。成立年未詳。本文「夕小雨牡丹も／寐たり我も寐む／鶴頭叟写題(印)(印)」。表具裏墨書「吉川五明雨牡丹自画賛／鶴頭 牡丹 松蔭舎」。<秋田県立図書館蔵(28-シヨカ^ゝ/アメ/91)、時雨庵文庫>

⑮発句画賛「よし迷へ」(紙本墨書、布装、縦103.0cm×横27.9cm、1軸)掛軸。五明書、民部卿法眼画。享和3年(1803)。本文「よし迷へ鶉の／声を道にせむ／七十三鶴頭書(印)(印)／(菘図)／行歳七十有四翁／民部卿法眼画(印)(印)」。<秋田県立図書館蔵(28-シヨカ^ゝ/キ/3)>

⑯俳諧画賛「春の山」(紙本墨書、布装、縦61.7cm×横25.1cm、1軸)掛軸。五明書。成立年未詳。本文「春の山水の中より／明けにけり／柳柳にかかる／とりの巢／鶴頭叟(印)(印)」。<秋田県立図書館蔵(28-シヨカ^ゝ/アメ/92)、時雨庵文庫>

⑰発句書軸「初からず」(紙本墨書、紙装、縦49.0cm×横16.8cm、1軸)掛軸。五明書。成立年未詳。本文「初からず待や／明方のこゝろよき／五明(印)」。平成14年10月1日、山口醇氏寄贈。<秋田県立図書館蔵(91-ゴウト^ゝ/2160/) >

⑱発句書「蛸の」(紙本墨書、紙装、縦135.6cm×横37.0cm、1軸)掛軸。五明ほか書。成立年未詳。短冊7点貼交ぜ。「蛸の鳴かすなりしかなくかなし 五明」、「子規四月の山高からず 素郷」、「祭まですつきり刈せぬ小村かな 乙二」、「飛翠柳うらやましくもなりにけり 長翠」(飛翠=風に飛ぶ柳のワタ)、「駕来しや□□□(模様重なり)あさし池の水 七十七歳 翠羽女」、「山水や秋はへる々々尾花咲 きよ女」、「霧吹や半蔀あけしわらし店 たよ女」。表具裏墨書「奥羽四天王／素郷 五明／乙二 長翠／三閨秀／久女翠羽 清女／多代女／しぐれ庵」。<秋田県立図書館蔵(28-シヨカ^ゝ/アメ(キ5)/86)、時雨庵文庫>

⑲俳諧書「木からしや」(紙本墨書、紙装、縦45.6cm×横29.2cm、1軸)掛軸、五明書。成立年未詳。本文「木からしや／堤の水の／うハ曇」、「震の光二日も／此の月夜かな／菌をわかつ／笠やふろしき」、「桜咲きて人の立ちたる月夜かな／節考／鶴頭叟(印)」、「月のかげ藻の／花ミつる光かな」。<秋田県立図書館蔵(91-ゴウト^ゝ/1443/) >

⑳漢詩及発句書軸「梅の月」(紙本墨書、布装、縦83.8cm×横28.2cm、1軸)掛軸。五明書。成立年未詳。本文「憂方知酒聖／貧始覚銭神／梅の月徳利はしらす妻もかな／鶴頭叟(印)(印)」。『憂方知酒聖／貧始覚銭神』は、白居易(白楽天)の古体詩「江南謫居十韻」中の詩句。『虚栗集』で芭蕉もこの詩句から発句を起こしている。表具裏墨書「小夜庵五明梅月 しぐれ庵」。<秋田県立図書館蔵(28-シヨカ^ゝ/アメ/90)、時雨庵文庫>

⑲^{かせんこう ごめいしやうぞう}歌僊行・五明肖像（紙本墨書（歌僊行）・紙本彩色（五明肖像）、布装、全体：縦75.6cm×横46.2cm、歌僊行：縦17.1cm×横41.7cm、五明肖像：縦29.0cm×横43.0cm、1軸）掛軸。五明書（歌僊行）、柴田南谷画（五明肖像）。歌僊行：天明3年(1783)成立。五明肖像：文久3年(1863)成立。歌僊行は、五明による三十六歌仙独詠。表具裏墨書「柴田南谷画五明肖像／吉川五明書歌僊（僊）行 時雨菴」。＜秋田県立図書館蔵（28-シヨガ`/アメ/94）、時雨庵文庫＞

【典籍（門人編著）】 1点

⑳^{さよあん ごめいぼくしゅう}小夜庵五明発句集（紙本墨書、半紙本・四ツ目綴、縦22.3cm×横15.3cm、20丁、1冊）稿本。工藤野松編・筆。江戸時代後期成立。五明秀句集。野松自序。末尾に「是膽斎野松書」の署名と印記あり。題簽消失。内題なし。小夜庵は五明の別号。本資料は、平成5年に秋田県立図書館から秋田県公文書館に移管されている。＜秋田県公文書館蔵（貴47-4、AH911.3-20）、東山文庫＞

【附（五明遺品）】 3点

㉑^{はしら いえ}柱がくし「家ことに」（木製彫込（白墨）、縦94.5cm×横32.0cm、1点）木製柱がくし。五明詠・書、成立年未詳。本文「家ことに菊ある里や水三すじ／鶴頭叟五明」。＜秋田県立図書館蔵（28-シヨガ`/アメ/148）、時雨庵文庫＞

㉒^{にょい たびびと}如意「旅人と」（木製彫込、縦43.4cm×横2.8cm、1点）自作如意棒。五明書、成立年未詳。本文「旅人と我が名呼れむ初時雨 芭蕉翁」。箱蓋墨書「五明翁愛玩自作之如意」。＜秋田県立図書館蔵（28-シヨガ`/アメ/149）、時雨庵文庫＞

㉓^{ごめいおうぐんだい}五明翁文台（木（杉）製、縦34.0cm×横59.0cm×高11.2cm、1点）木（杉）製文台。年代未詳。文台裏に「空見神は／その跡高しほとゝきす」の句を含む益戸巴釣（滄洲）の墨書がある。二重箱入り。内箱蓋墨書「五明翁文臺」。外箱蓋墨書「時鳥之文臺／初時雨如意」。内箱と外箱の蓋裏に安藤和風による来歴墨書がある。＜秋田県立図書館蔵（28-シヨガ`/アメ/147）、時雨庵文庫＞